

## 2021年度第7回12月期定例番組審議会議事録

1. 開催の日時 2021年12月
2. 開催の場所 各委員に資料を郵送して番組をお聞きいただき、  
意見・感想を返信してもらう形式で開催
3. 委員の出席 委員総数9名  
返信総数9名

出席委員名	委員長	増田仲夫
	副委員長	河又弘子
	委員	竹内明子
	委員	白幡冬彦
	委員	古口 悟
	委員	富田哲夫
	委員	大森玲子
	委員	石松英昭
	委員	大出正志

#### 4. 議 題

- (1) おうちで餃子祭り！～栃木・静岡2021～  
11月6日（土） 15：00～16：00 （60分番組）

- (2) その他

## 5. 議事内容

### (1) おうちで餃子祭り！～栃木・静岡 2021～

番組視聴：放送した番組を各委員に送付して試聴していただいた

議題説明：餃子の消費量ランキングで毎年トップを争う宇都宮市と浜松市。コロナ渦で店舗で餃子を楽しむ機会が減っている餃子ファンのために、おうちでの餃子の楽しみ方を始め、餃子の魅力を栃木放送と静岡放送が同時生放送で伝える。また第4位の京都市も出演する特別番組。

各委員からは、

- 餃子をターゲットに両局のコラボ企画として、餃子の歴史や特徴を紹介し、観光スポットを含めたお互いの街のPRに繋がる良い企画。今後もこのようなコラボ企画は、様々な地域との交流に繋がるとともにリスナーの新たな発見に結びつくと考えられる。
- 栃木・静岡・京都とエリアを超えた放送局とのコラボは新鮮だった。アナウンサーの話し方や説明の仕方が浜松や京都の餃子を食べてみたいと思うほどで好感が持てる内容だった。共通する内容を全国規模でこのように展開することも、リスナーの視野を広げるために有効と思う。
- 宇都宮餃子祭りが中止になったため、餃子購入額1位、2位の地域で同時生放送したのは良かった。餃子の食材を作っている生産者のこだわり、餃子店の工夫や苦労話などを紹介すると良かったのではないかと。京都の話は特定の店に終始していて不要だったのではないかと。1時間あったので、より内容を深めると良かった。
- 餃子祭りが予定されていた日に、祭りに変わって静岡と組んで番組を作るのは目の付け所が良い。コロナ渦で出張することなく同時生放送できるのもこの時代ならではの良かった。浜松餃子の特徴を知ることができ、宇都宮餃子も意外と知られていない知識が盛り込まれていて地元でも発見につながった。「バトル」というからにはもっと丁々発止のやり取りがあったほうが楽しめた。京都のアナウンサーは面白かったが特定のチェーン店の話ばかりでいかなものか。食レポをするならSNSなどで映像を見せるべきではなかったか。
- 番組を通して宇都宮と浜松の餃子の特徴を理解できたほか、食材を通してその土地の地理的特徴も把握できる内容だった。4位の京都の出演や餃子の焼ける音などで刺激のある番組だった。このような交流番組を展開することで、栃木県への観光客誘致に繋がるかもしれないと思う。

- コロナ渦の中「おうちで」という番組は時宜を得て良い企画だった。少し騒がしい感じがしたが楽しく聞くことができた。餃子の焼き方の説明が不足していて分かりづらかった。番組冒頭のやり取りが長かった。観光名所の紹介はとても良かったが、浜名湖のウナギや栃木のいちごについても少しは触れて欲しい。
- 構成は良かった。一部が販売店の宣伝になってしまっていたように思う。楽しい企画だが、1時間は少し長いと感じた。地元の食材はどの程度使われているかなどの話題があればよかった。
- 宇都宮餃子と浜松餃子のお互いの良いところを引き出す等、とても聞きやすく楽しく聞くことができた。番組で餃子関連の曲がかかり、番組を引き立てていると感じた。
- 宇都宮餃子祭りが中止となり、タイムリーな企画だった。静岡と餃子を比べたり、互いに観光地を紹介したりと楽しめる内容だった。両局とも女性アナウンサーでどちらの餃子を紹介しているのかわからなくなる時があり、どちらかが男性だったりするとわかりやすかったのではないかと。各地の放送局とそれぞれの名所や産品などを紹介する番組はもっとあってもよいと思う。

当社としては、これらの意見をもとに、今後の番組制作や広報に取り組んでいきたい旨を、各委員に伝えた。

## (2) その他

### 6. 審議内容

上記の通りであり、特に審議決定し、答申すべきものはなかった。

### 7. 番組審議会の答申および意見の概要の公表

- ① 当社の番組「栃木放送からのお知らせ」  
(2021年12月26日(日) 午前8時5分放送)
- ② 当社のホームページに掲載(2021年12月21日～)
- ③ 当社事務局に議事録備え置き(2021年12月21日～)

以上